

STAGE 2-3

平和島工場

新設 1998 (平成10) 年閉鎖後移転

竣工 DATA

竣工年月	1979 (昭和54) 年12月 (賃借・京浜運送)	
設計者	松本設計	
施工者	東急建設	
施設概要	敷地面積	4,958.93㎡
	延べ床面積	14,672.90㎡
	構造	RC造5階建
	プラットホーム	開放型高床式
	防熱方式	内防熱
収容能力	総トン数	18129.22t (ヨコレイ利用分)
	F級	18129.22t (ヨコレイ利用分)
	C級	×
	C&F	×
	凍結	×
冷却設備	施工者	小知和冷凍建設
	冷凍機メーカー	日立製作所
	主要冷凍機	高速多気筒冷凍機
	冷媒	R-22
	冷却方式	分散式・直接膨張式・ユニットクーラー
その他設備	エレベーター6基	



平和島工場 (1984 (昭和59) 年)

したのはいいのだけれど、その結果輸入エビが殺到し、社員の間では「地獄島」と呼ばれていたよ。

物流も海上コンテナや冷凍トラックが主体に変わって来ていて高床式の開放型のプラットホームが有効だった。でも海上コンテナや冷凍トラック対応の経験値が少なく、創意工夫で改修をして入庫効率を上げていたよ。

Q どんな改修でしたか？

A プラットホームが狭いので、後付けでプラットホームを8m拡張し、その先にコンベアを固定させて(次ページ図参照)エビなど仕分けの多いコンテナの入庫に対応したんだ。コンテナが着くと手前の貨物からコンベアに下ろすじゃない。段々奥に掘り進んで行くとコンベアを中に押し込んで行くのが普通でしょ。だけど平和島工場の場合、コンベアは固定しておいて運転手さんにコンテナの方をその都度バックしてもらって、コンベアをコンテナの奥まで送って下ろすわけ。運転手さんがヘッドを切らずに待って貰うことができるくらい効率は物凄く上がったよね。ヨコレイならではの工夫をしたよね。最近の物流センターの広い荷捌き、プラットホームに通じるよね。

Q 時代の最先端だったんですね。

A 最先端というよりも、さまざまな創意工夫が生かされ



大森と大井の間に位置し、かつて海苔の養殖が盛んな地域を埋め立てた人工島で、戦後戦犯の一時収容所があったことから、戦争を忘れない象徴として「平和島」と名付けられた。

コンテナによる物流の変革

■コンテナとは

コンテナとは、大きさが規格化された鋼やアルミニウム製の貨物輸送用の箱のことを指す。

1956年(昭和31年)米国シーランド社の創始者マルコム・マクリンが、ニューアークからヒューストンまでコンテナ58個を船で運んだのがコンテナ輸送の始まりとされ、その後数年で、瞬く間に世界中に広まった。

コンテナは箱の大きさが規格化されており、船、鉄道、トラック等の異なる輸送手段への積み替えが容易に可能であるだけでなく、荷役関連設備の規格も統一が可能のため荷役時間が大幅に短縮され、同時に荷役作業もほとんど不要となったことで荷役コストが従来の約40分の1にまで激減したといわれている。

さらに、船から直接ガントリークレーンによって荷揚げでき、トラックなどの輸送車両と切り離れた状態で倉庫の代わりに貨物の保管をすることもできることから、物流コストの低減だけでなく、全世界をシームレスに繋げることを可能とし、物流のあらゆる

場面で大きな変革をもたらした。その他、コンテナは「20世紀最大の発明のひとつ」とも言われている。

■コンテナと平和島工場

日本には1967(昭和42)年に米国から神戸港と東京港に寄港したのが、初のコンテナ上陸だった。

日本でのコンテナ普及率は、1970(昭和45)年にはわずか8.8%だったが、1988(昭和63)年には83%にまで達した。コンテナが登場するまで大量の貨物は船を利用することが主流であったため、当社の冷蔵倉庫もこれまで岸壁や運河沿いに立地していたが、平和島工場は日本でもコンテナ物流が主流になりつつある1979(昭和54)年完成で、当社で最初にコンテナ対応をメインに設計された冷蔵倉庫だった。



岸壁のガントリークレーン

海上輸送が舢舨(はしけ)からコンテナへ 物流の変革に対応した冷蔵庫

Q 平和島工場は賃借と聞いていますがどうでしたか？

A どうでしたか？と言われども、経営上の事だからねえ。京浜運送株式会社が建設したけど設計はヨコレイ主導で行われていたと聞いているよ。冷凍機はクーラー方式の分散型だったけど、これは管理を行っていた京浜運送の事情もあったかな？

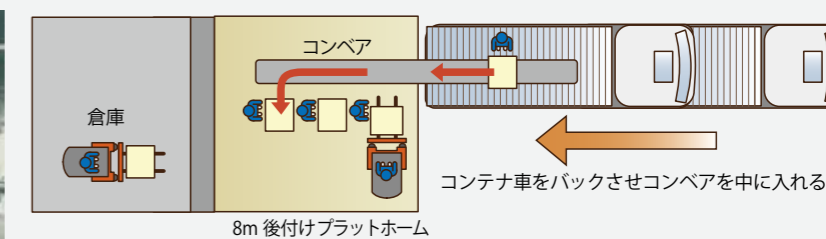
プラットホームは高床式で、箱崎工場に続き屋上へ資材が置ける仕様だったし、エレベーターは屋上までつながっていたな。ここは取引先からは「エビグラ」と言われていたよ。

Q “エビグラ”ですか？

A そう、輸入のエビの取り扱いが多かったんだ。当時東京地区でエビの細かい仕分けができる冷蔵倉庫はこの平和島工場の他に1、2社くらいだったかな。エビは様々な品目・規格が混在した状態で船積みされて来たが、正確な仕分け作業をしてもらえる冷蔵倉庫がなく、十分に仕分けできない状態のまま安く販売せざるを得なかったんだ。平和島工場が正確な仕分けを行うことで、それぞれの品目・規格に合わせた価格設定が可能となり商社の収入額が大幅にアップ

column 改修したプラットホームと新しいフォークリフト

■改修した1階プラットホーム



■カウンター式フォークリフト

回転半径が小さい3輪式で、後輪が90°回転するため、その場で旋回が可能

